

豊泉家 レインボーカレッジフェスタ2024

あき 秋のイギウギ インクルージョン
を開催しました!

HCC TIMES



Vol.258
2024 12



豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家
〒561-0881 大阪府豊中市中塚塚 3-2-1
TEL:0120-294-998
<https://www.housenka.com/>
編集元: 統合営業本部 広報部 瀬戸根 将成
2024.12.1発行

11月4日(月)豊泉家チャレンジセンター住之江にて『豊泉家レインボーカレッジフェスタ2024』秋のイギウギインクルージョンを開催いたしました。

『豊泉家レインボーカレッジフェスタ』は、豊泉家のチャレンジ事業全体のお祭りとして、2014年よりチャレンジ事業のパートナー(ご利用者)の皆様が創られた作品や、その様子を撮影した写真を展示するなど、日々の活動を知っていただくためのイベントとして開催してまいりましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、2019年度に規模を縮小して開催して以降、全体としては約6年ぶりの開催となりました。

今回の『豊泉家レインボーカレッジフェスタ』は、もともと多くのチャレンジの皆様に楽しんでほしい!という思いから、パートナーの皆様だけではなく、地域の皆様にもご参加いただけるように規模を拡大して開催いたしました。

当日は、秋晴れの空のもと、パートナーの皆様、外部の皆様、フェロー合わせて、約300名の皆様が住之江コミュニティに集まりました。

まず、社会福祉法人福祥福祉会阿久根賢二理事長より、参加いただいた皆様への感謝の気持ちと「ここに集う皆様と一緒に創り上げていくお祭りとして、パートナーの皆様



様フェローが一丸となつてこのお祭りを盛り上げていきたいと思います」と、開会挨拶のメッセージをいただきました。この挨拶を受け、フェスタはにぎやかにスタートいたしました。

午前の部は、メインステージにてマジシャンのユージ南様によるマジックショーからスタートいたしました。ハンカチが燃えてスティックに変わるマジックや、テーブルが宙に浮く演出では、会場から驚きと歓声があふれました。続いては、HCCチャレンジ音楽クラブの皆様による演奏と合唱で会場は大盛り上がりで、皆様笑顔が溢れていました。



また、体育館ではパートナーの皆様によるカラオケ大会が行われ、熱い歌声やパフォーマンスで盛り上がりました。

午後は、シンガポールの山下遊子様によるライブパフォーマンスからスタート。力強い歌声がステージを彩り、観客も手拍子で応え、会場に一体感が生まれていました。続いて、パートナーの皆様が発表会がスタートしました。トランプセンターは豊泉家チャレンジパートナー1365日の紙飛行機」の歌と演奏を披露いただきました。歌の終わりにサブライズで手作りの紙飛行機を飛ばすパフォーマンスがありました!

続いては、豊泉家チャレンジドセンター箕面の皆様カラフルなポンポンを使って「ジャンボリズムキ」のダンスを披露いただき、観客も手拍子で応援していました。最後は、豊泉家チャレンジドセンター住之江の皆様による「B!ing Bang Bang Born」のダンスでは、会場を盛り上げ、観客から大きな拍手が送られました。



会場には、豊泉家チャレンジドセンター住之江の屋内で、パートナーの皆様が制作した作品の展示コーナーも設置し、来場いただいた皆様に、実際に鑑賞いただき、パートナーの皆様創作活動に触れていただく機会となりました。また、喫茶コーナーではパートナーの皆様がコーヒーを運ばれる姿もありました。屋外では、屋台やフードトラックにて、焼きそば、わたがし、フルーツポンチ、ソフトクリームなど様々なフードメニューをご用意し、皆様から種類も多くて美味しいと大変好評でした。また、豊泉家のパン屋「Panda Rainbow」の出張販売も行われました。

緑日コーナーでは、射的、ヨーヨーつり、おもちゃすくい、コイン落としといったゲームで皆様にお楽しみいただきました。最高記録を出して喜ばれた姿や悔しい姿も何度と挑戦される姿が印象的でした。

お祭りのフィナーレでは、シンガポールの山下遊子様に再度登場いただき「世界にただけの花」を大合唱いただきました。参加いただいた皆様は、笑顔で感動を共有し、フェスタは盛況のうちに幕を閉じました。



約6年ぶりの全体開催となった『豊泉家レインボーカレッジフェスタ』。今回はコミュニティの枠だけでなく、豊泉家の枠を超えて、多くのチャレンジの方に楽しんでいただくというイベントとなったことにも、日頃パートナーの皆様が取り



『豊泉家レインボーカレッジフェスタ』は、チャレンジドセンターでの開催ということを最大限に活かし、車椅子対応トイレ、ケアルーム、センサリールームの設備面に加え、万が一に備えた看護師の常駐、ユニバーサルデザインマップの配布など、地域の方も安心してお過ごしいただけるよう体制を整備して開催いたしました。また、同じコミュニティのケアハウスのご入居者、デイサービスのご利用者の皆様も参加され、楽しめるなど、インクルージョンの実現にむけた歩とすることができたのではないかと、思います。

組まれていることの成果を発表することができました。参加者も300名を超え、豊泉家が開催するお祭りの中でも最大規模のお祭りとなりましたが、参加されたパートナーの皆様からは「楽しかった!」「ダンスの前は緊張したけど、上手にできた!」などの嬉しいお言葉をいただくことができました。また、外部から参加いただいた方々からも「地域の皆様とのふれあいの場として素晴らしい場所だ」と、ありがたいお言葉をいただきました。

引き続き、パートナーの皆様と一緒に来年の『豊泉家レインボーカレッジフェスタ』に向けて日々の課題に取り組んでまいります。今後このような交流を深める場を設け、地域社会の貢献とパートナーの皆様への支援に努めてまいります。

記者: 東谷 祐子

HCC北緑丘

北緑丘 秋祭り

〒160-0001 東京都豊島区北緑丘1-1-1
HCC北緑丘会館

11月7日(木) 特別養護老人ホーム豊泉家 北緑丘にて秋祭り「Thanksgiving Festival」を開催しました。

今年の秋祭りでは、日頃の感謝を込めたお祭りを企画し、皆様がいなご思うものを詰め込んだお祭りとなりました。

北緑丘コミュニティに関わるフェローから手形を集め、大きな手形アートを作成し、大アクトビームにて作成したペーパーフラワーをお祭りの装飾にさせていただきました。北緑丘コミュニティ全体で、お祭りの準備をしてきました。

お祭り当日の午前中は、宝探し探検ツアーで、普段過ごしているホームの様々な設備やお部屋を見ていただいたり、赤ちゃん先生との触れ合いやピアノ、ギター演奏を聴いていただきました。昼食はお寿司を召上がりました。午後からは、屋外にステージを設置し、フラメンコ、演歌、新卒フェローによるよさこいをお楽しみいただきました。最後は、みんなで「ありがとうの花」を合唱し、盛り上がりました。

この秋祭りのために10月頃から各フロアで練習していた歌つて終わることができました。



HCC桃山台

桃山台 秋祭り

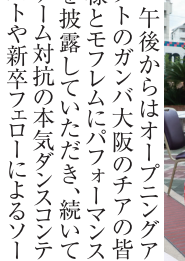
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
HCC桃山台会館

10月30日(水) 桃山台コミュニティの秋祭りを開催いたしました。当日は、アシスタッドリビングホーム豊泉家 桃山台にお住まいのご入居者、ほうせんかキッズクラブの子ども達など、沢山の方々が参加されました。また、パートナーシップ契約を締結し、Assisted Supporters (通称・アシサポ)に取り組んでいるガンバ大阪のユースの皆様のご協力いただき、開催することが出来ました。午前中は、リタコトに屋台を出店し、おでん・焼きそば・鱈のおにぎり・焼き鮭・さつまいものジェラート・かぼちゃプリンをご用意。ご入居者の皆様には好きな物を好きなだけ召し上がっていただきました。炭で焼いた焼き芋も数量限定でお召し上がりいただきました。またガンバ大阪ユースの皆様によるリフティング対決も行われ、場は大盛り上がり。ウインナーコーヒート甘酒スミージーのどちらが美味しかったか投票してもらった内容となりました。

午後からはオープンテラスのガンバ大阪のチアの皆様とモフレムにパフォーマンスを披露していただき、続いてチーム対抗の本気ダンスコンテストや新卒フェローによるソー

ラン節と大盛況でした。本気ダンスコンテストではフェローだけでなくご入居者の皆様にもご参加いただき、ご入居者のチームの優勝となりました。参加いただいたご入居者より「おでんが染みていて良かった」「ドリンク対決の景品が斬新で良かった」「こんなにも楽しいお祭りは初めて」と嬉しい言葉を沢山いただきました。

今後ともご入居者の皆様に楽しい時間を過ごしていただける様、尽力して参ります。記者・摺石 奈々



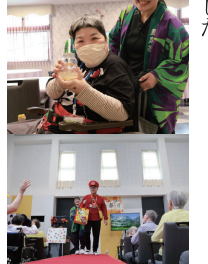
HCC住之江

住之江 秋祭り

〒150-0001 東京都目黒区住之江1-1-1
HCC住之江会館

10月24日(木) ケアハウス豊泉家 住之江にて、「秋祭り」を開催いたしました。住之江コミュニティのケアハウスデイサービス、チャレンジセンター、チャレンジホームYUKI住之江をご利用いただいている100名近くの方にご参加いただきました。テーマは「住之江ジェネレーション」。

午前中は、昭和から今に至るまでの時代を遊びや食を通して感じていただきました。特に喫茶コーナーは大盛況で、昔懐かしいミックスジュースなどを可愛らしいアヒルのコップで味わっていただきました。



午後からは体育館にて、ご入居者ご利用者に加え、フェローも一緒にフットボールや歌合戦を行いました。熱のこもった歌声に聴き入った面白おかしいフェローの姿に大爆笑する場面もありました。ゲストで来ていただいた中峰美由様の歌に合わせて皆で合唱するなども賑わいのある時間となりました。

「一緒に盛り上げてくださる皆様、ありがとうございます。また来年の春も、住之江コミュニティの皆様と一緒に楽しいお祭りを作りたいと思いますので、これからもお元気でいてください。記者・辻丸 春之



HCC芦屋山手

仮面舞踏会

〒150-0001 東京都目黒区芦屋山手1-1-1
HCC芦屋山手会館

10月31日(木) CCR豊泉家 芦屋山手にて、10月イベント「仮面舞踏会」を開催いたしました。午前の部は、オリジナル仮面作りでした。真っ白な仮面にペンやデコレーションシールを使って自分好みの仮面に装飾していただきました。ドレスカラーを貼ろうかな」と皆様、思い思いにオリジナルの仮面を作っていました。午後の部は、お待ちかねの舞踏会が始まりました。ドレスコードは「仮面」。午前中に製作していただいた仮面を身に付けて、ご参加いただきました。

「仮面舞踏会」は、仮面作りから始まり、オリジナルの仮面作り、そして舞踏会。仮面作りでは、真っ白な仮面にペンやデコレーションシールを使って自分好みの仮面に装飾していただきました。ドレスカラーを貼ろうかな」と皆様、思い思いにオリジナルの仮面を作っていました。午後の部は、お待ちかねの舞踏会が始まりました。ドレスコードは「仮面」。午前中に製作していただいた仮面を身に付けて、ご参加いただきました。



スペシャルゲストに、井上裕次郎様・宮武樹様をお迎えしました。いつもとは違うイメージアウトで、お2人をご入居者様が囲むようにセッティングも優雅で迫力があり、お2人のダンスも、皆様うっとりされている様子でした。「体験コーナー」では、実際に社交ダンスのステップを教えたいただき、フェローとペアを組んで踊っていました。楽しいイベントとなりました。

今後とも、体験型参加型の楽しいイベントを企画してまいります。記者・石倉 萌



HCCスカイクラブ

ネイルの日

〒150-0001 東京都目黒区スカイ1-1-1
HCCスカイクラブ会館

ほうせんか病院4階緩和ケア病棟では月に1度特別な癒しの時間として、ネイルとフットケアを提供しています。このイベントは、福祉ネイリストの石川理香子様、立石浩子様、フットケアにはほうせんか病院のボランタリーアの方々にお願いいたしました。皆さまに笑顔をお届けいたします。

福祉ネイリストとは、サロンの足を運ぶのが難しい高齢者や病気がちいをお持ちの方のもとへ向けて、ネイルサービスを行う専門職です。患者さま達は毎月ネイルの日をとっても楽しみにされておられ、石川様とお話ししながら色やデザインについて相談し、オーダーにそった施術を行います。施術中は、お話を弾み互いに笑顔の中、ほれ、和やかな雰囲気の中で手元を丁寧

に仕上げていきます。ネイルが完成すると、満足感あふれる表情で「写真撮って!」という声が聞こえます。ご自身の美しい手元を見つめる患者さまの姿から、心からの喜びが伝わってきます。爪にアートが施されたネイルがキラキラ輝く!一段と明るい笑顔で微笑んでくださります。

患者さまに楽しんでいただくだけでなく、石川様やスタッフにとっても大きなやりがいを感じる瞬間となっています。これからも、心温まるイベントを企画し、喜びをお届けできるよう努めてまいります。記者・岡村 由佳



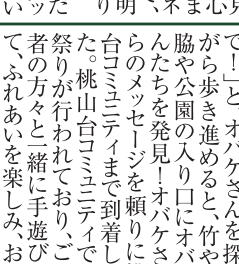
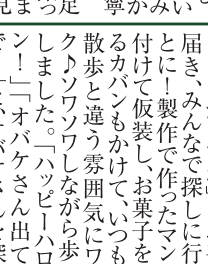
HCCキッズクラブ

ハロウィンお楽しみ会

〒150-0001 東京都目黒区キッズ1-1-1
HCCキッズクラブ会館

10月30日(水)、ハロウィンお楽しみ会を開催しました。事前に絵本を読んだり、オバケやマントを作ったり、手遊びうたをしてハロウィンのイメージを膨らませてきました。

当日は、オバケさんから「ほくをさがしてね」とお手紙が届き、みんなで探していくことに、製作で作ったマントを付けて仮装し、お菓子を入れるカバンもかけて、いつものお散歩と違う雰囲気ワクワククワソワソワしながら歩き出しました。「ハッピーハロウィン!」「オバケさん探しておいで!」と、オバケさんを探しながら歩き進めると、竹やぶの脇や公園の入り口にオバケさんたちを発見!オバケさんからのメッセージを頼りに桃山台コミュニティまで到着しました。桃山台コミュニティでは秋祭りが行われており、ご入居者の方々と一緒に手遊びをし、ふれあいを楽しみ、お楽しみのお菓子をいただきました。青空の下でご入居者の方々と楽しいハロウィンイベントを行うことができました。



記者・中村 宏美

2025年度 新卒フェロー内定者懇親会



10月1日(火)豊泉家ラン ドマーケット6階にて、A C ドメイン「2025年度新卒 フェロー内定者懇親会」を執 行いたしました。

おしえて ゆたかくん!



豊泉家で特別な想いを持って使用して いる言葉【豊泉家ワード】をゆたかくん が解説いたします!

- フェロー→豊泉家では、職員・社員・従業員と言わず、同志という想いを込め、フェローと呼んでいます。
●顧客→豊泉家のサービスをご利用の皆様。豊泉家では「パーソナルを重んじ、お客様のことを1番」と呼んでいます。
●チャレンジ→神様より挑戦する使命を与えられた人々たちという意味です。
●家縁→人と人とのつながりを表す「縁」という言葉。
●フェロー利用→豊泉家を利用してくださる顧客の皆様、ともに支えていた企業やボランティアの皆様との「御縁」を大切にしていきたいという願いを込め、豊泉家でつながる縁を「家縁(かえん)」と呼んでいます。
●ステークホルダー→一般的には利害関係者の総称ですが、豊泉家では家縁でつながった外部企業および個人を意味しています。

2024年度新卒フェロー フェローアップ研修

10月25日(金)から10月27 日(日)にかけて、豊泉家G U E S T H O U S E 芦屋奥池に おいて、2024年度新卒フェ ローフェローアップ研修を開 催いたしました。

今回の懇親会では内定者 人ひとりと食事を囲みなが ら、これからの未来について 語り合い、その後、社会福祉法 人福祉福祉会 阿久根賢理 理事長より内定証書が手渡さ れました。
皆様が素晴らしい社会人生 活を迎えられるよう、フェロー 同全力で支えてまいります。

「問題解決能力」に関する 松浦洋介経営戦略室長の講 話は、ディスカッションと発表 形式で行われました。解決策 を1人で考えるのではなく、 複数の視点から検討を行って いくことで、求められるコミ ュニケーションスキルや今後、豊 泉家において求められる姿勢 を学ぶ機会となりました。
研修の総括として、谷田誠 統合管理本部長より「自分 たちは長続きしないという考え は長続きしない。利他の心を 持つて業務にあたつてほしい」との激励の言葉をいただきました。

樋口昌克統合営業本部長 からは「フェローの質」サービ スの質)として、フェローの質こ そが、豊泉家の価値を左右す ることをお話いただきました。 また、やり直しが効かぬからこ そ、価値を見出し、プロセス志 向で業務にあたり、知識・技 術を身に着けるだけでなく、 人間力を磨くことの大切さ をご講話いただきました。

阿久根賢一統合運営本部長からは、数字に表れないと ころの重要性に気付くこと で、顧客に寄り添ったサービス が提供でき、良いことも悪い ことでも顧客の納得を得るこ とができることご講話いただき ました。
A C Dメインを代表して桃 山台コミュニティ、ピーチライフ 降幡香織キャプテンと、M C ドメインを代表して、ほうせ んか病院 緩和ケア病棟(スカ イクリニック)新田弥生チーム3 より、これまでの経験がご自 身の成長に繋がっていること と、激励の言葉をいただきま



記者:江崎 隆介

「NEXT DOOR」豊泉家未来を創ろう会」 「NEXT DOOR」豊泉家未来を語ろう会」のご案内

豊泉家グループでは、毎月 1度、フェローと田中会長を はじめとする経営幹部がブラス 思考・未来志向で議論する機 会、ボトムアップできる場とし て、阿久根賢一統合運営本 部長 兼 社会福祉法人福祉 福祉会 理事長がチエママン を務める「NEXT DOOR」(豊泉家未来を創ろう会) (以下創ろう会)と樋口昌克 統合営業本部長兼 医療法 人成和会副理事長がチエマ マンを務める「NEXT DOOR」(以下語ろう会)を開催 しております。

この「NEXT DOOR」に は、3つのテーマがあります。 ①豊泉家一丸を示す輪っかの 「輪」
②経営陣参加フェローの対話の 「話」
③そして互いに相手を大切 にし、協力し合う関係にあ る大和(たいたわ)の「和」の 三つを合わせた「三和」をテ ーマに開催しております。

「開催場所について」 創ろう会は、毎月会場が異 なります。4:10月 北緑丘コ ミュニティ、5:11月 桃山台コ ミュニティ、6月 大阪コミュニ ティ(上町台)、7:1月 大阪コ ミュニティ(住之江)、9:3月 芦屋コミュニティ、8:2月 外 部開催、12月 桜塚コミュニ ティの会場で開催
語ろう会の会場は、ほうせん か病院4階ロースホールです。 これから参加したい方やそ の他ご質問がある方につきま しては、統合運営本部 人財 開発マネジメント部フェローキ ャリアセンターまでお問い合わせ ください。フェロー皆様の ご参加を心よりお待ちしております。



お問い合わせ先 TEL:01202260314

第7回「成和塾」開塾
10月28日(月)、第7回成 和塾が住之江コミュニティで 開催され、塾生9名が未来の 企業経営や人財育成について 学ぶ機会となりました。今回 は田中塾長の講話に加え、初 回の外部講師として株式会社 イマジナの関野代表が登壇し ました。
田中塾長は「計画継続経 営」と「大家族主義経営」を テーマに、豊泉家の三度にお たる長期経営戦略を振り返り ながら、経営における「先 見性」と「人との和」の重要 性を強調しました。また、「リ ーダーに必要な「作る力」「つ ながる力」「持ちこたえる力」 を挙げ、少子化などの社会課 題を見据えた人財育成が企 業の未来を左右すると述べ ました。「自責主義」「利他主 義」「大家族主義」に基づき 経営が、豊泉家の未来を支え るとのメッセージも共有され ました。

リファラル採用 フェロー紹介システム
最大5万円が支給されます!
豊泉家のフェローや 内定者からの紹介で 入籍が決まったら 紹介する側も 紹介される側も システムです!
全法人が対象
新制度では 内定者からの紹介も対象に!
申請方法も電話一本で 楽々簡単になりました!



関野代表の講話では、無形 資産としての人財育成への投 資が企業成長の鍵であると 紹介され、データ分析を基に した戦略やグローバル視点か らの柔軟な経営の重要性が 説かれました。さらに、次世 代リーダーの育成が企業の持 続的発展につながることを強 調しました。
成和塾は、田中塾長の哲学 や外部知見を通じ、実践的な 学びを深める場として、未来 の豊泉家を共に築くこと、人財 を育てています。今後も塾の 様子をお届けいたします。
記者:瀬戸根 将成

第31回 グリーン オアシスの会

10月24日(木)ケアハウス豊泉家 桃山台6階(303)にて「グリーンオアシスの会」を開催いたしました。

第1部の社会福祉法人 福祉社 阿久根賢理理事長による認知症講座では「認知症パズルタイム」で究極の「1011」を創造するゲーム「1011」を教材として、講師「アキラケア」実践の心得から「相手の「世界観」を共有し支援する」より、コミュニケーションを取り上げました。

1点目の事例では、徘徊をされている方の表情に着目し、その方の行動を肯定した事例を紹介いたしました。

2点目は感情の起伏が難しい場合の事例として、どのような際に表情が緩むか、発せられる言葉に着目し、いかに信頼関係を構築するに至ったかを紹介いたしました。

認知症ケアでは、ストレスの軽減が求められます。考えられていることや目的が達成できないことや、周囲から行動を止められることにより、症状が悪化や更なるストレスに繋がることが危惧されます。一方、人に介護するのはなく、人と人を繋げるコミュニケーションが非常に大切で、お互いを助け合うことの大切さをお話いただきました。

第2部の座談会では、ご入居者ご利用者のご家族が悩みや日頃の過ごし方などについてお話をいただきました。引き続き、認知症を有する方のご家族にとって、心のオアシスとなるように取り組んでまいります。

記者：江崎 隆介

北大阪ほうせんか病院 地域連携会

10月12日(土)立命館いばらきフューチャープラザにて「北大阪ほうせんか病院地域連携会」を開催し、地域の医療機関の皆様にお越しいただきました。

第1部の開会挨拶は茨木市医師会長の上野豊院長に登壇いただきました。第2部では、後藤葉一 副院長、リハビリテーション科 原田武雄部長、内科統括 吉川昌平部長、放射線科 山本聡部長より、それぞれ専門領域のテーマで発表いただきました。最後に富士武史院長より「北大阪ほうせんか病院の展望」について、リノベーション後の状況や、今後の展望などをお話いただきました。

第3部の懇親会では多くの近隣病院クリニック、院長や連携室の方に、参加いただき地域の医療機関との顔の見える関係性構築の場となりました。

今後とも地域の関係医療介護機関とシームレスな医療サービスが行えるように取り組んでまいります。

記者：東谷 祐子

ロビーコンサート100回記念 ランチパーティ

11月9日(土)ほうせんか病院内のレストラン(なごみ)にて、「ロビーコンサート100回記念ランチパーティ」が開催されました。

ほうせんか病院のロビーコンサートは、ほうせんか病院岡博子院長が2015年10月にスタートさせ、2024年9月18日に記念すべき100回目を迎えました。この日は、長年ロビーコンサートを支えてくださったアーティストの皆様への感謝を込め、レストランのスペシャルランチコースをお召し上がりいただきました。パーティでは、過去のコンサートの様子をスライドショーで振り返りながら、アーティスト同士の間にも深まる温かな交流のひとときが見られました。

お越しいただいたアーティストの皆様からは、「患者さまが涙を流される姿を見たとき音楽の持つ力を改めて実感した」「ここで演奏するとどんな困難があってもまた頑張ろうと思える」といった心温まるメッセージも寄せられました。

今後ともほうせんか病院では、月に一度のロビーコンサートを通して、患者さまや地域の皆様へ喜びと癒しを提供できるよう、尽力してまいります。

記者：東谷 祐子



HFC 淀川河川敷BBQ大会を開催しました

前回大好評だった淀川河川敷BBQ大会。涼しくなり、BBQ日和になってきたので、第2回を10月26日(土)に開催しました！焼きたての美味しいお肉とアルコールやソフトドリンクを楽しみました！

第51回 HFC ボウリング大会を開催しました

10月9日(水)バスターボウル阪急茨木本店にてHFC ボウリング大会を開催！当日は、20名のフェローにご参加いただき、お菓子や、ブランド豚、マッサージ機など豪華景品を目指して盛り上がりました！

株式会社ガンバ大阪様 との取り組み 「Assisted Supporters」 の活動報告について

Assisted supporter (通称：アシサポ)とは、シルバートナー兼SDGsmi Leパートナー契約を締結している株式会社ガンバ大阪様と共同運営しているプロジェクトです。介護が必要な人(sister)にも支える人(supporter)になれるということを実現させるため、スタジアム観戦等のイベントなどを通じて「介護が必要でも様々なことに挑戦できる」プロジェクトです。

10月30日(水)に開催された、桃山台コミュニティの秋祭りにガンバ大阪より、ユースの祭り23名がガンバアオアシのジャルマスコットのモフレムにお越しいただき、屋台のお手伝い、ダンスを披露いただきました！ご入居者の皆様からは「ダンスが素敵だった」「若いパワーで元気をもらった」などの嬉しいお声をいただきました。引き続き、ガンバ大阪様と協力しながら、皆様に新しい経験の機会を創造できるように尽力いたします。

記者：東谷 祐子

12月 豊泉家グループからのお知らせ

★12月のイベント★

- ・12月6日(金)R&Dグループ大会
- ・12月20日(金)フェロー望年会

※一般的には、その年の苦勞を忘れるために行なわれるため「忘」の漢字を使用しますが、豊泉家では「新年を望む」という意味を込めて「望」の漢字を使用しています。